

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文
平成29年5月8日 NO.3 (132)

教育実習の始まり

教育実習は、教員として必要な免許を取得するために義務付けられている科目であり、実際の教育現場で児童を対象に「先生」を体験するものです。期間中は、先生方と同じように毎日通勤し、学校の様々な業務を行います。特に自分で授業を計画・立案し、授業実践をすることが大きな仕事となります。実習生にとっては、緊張と不安の連続であることでしょう。未来への夢実現に向け教職員・児童等、学校全体で応援していきたいと思います。健康に留意し、感動と喜びいっぱいの3週間になってほしいと心より願っています。以下3人の自己紹介と抱負を掲載いたします。

教育実習生の挨拶

専攻は社会で、アメフト部に所属しており体を動かすことが大好きです。教育実習中は、児童とたくさん遊び、ふれあい積極的に関わりたいと思っています。私の教育実習での目標は、「児童が主体的に、楽しく学べる授業をすること」です。そのために、まず児童と関わり、一人一人の興味や関心・よいところを捉え、教材研究や授業準備をしっかりと行いたいです。また、先生方の授業や児童との関わり方をよく観察し、教師として成長できる3週間にしたいと思っています。

私は教育実習生という立場ではありますが、学校の中、児童の前では、学校で働く一教師としての自覚をもって教育実習に臨みたいと考えています。今回、このような機会を頂いた国立第七小学校のすべての方に感謝の気持ちを忘れずに頑張ります。3週間、どうぞよろしくお願いします。（5月8日～東京学芸大学 福田航平…3年1組）

新潟県新潟市出身で、田んぼに囲まれた小学校の中で、放課後はおにごっこや缶けりをして友達と一緒に遊ぶことが大好きな小学生でした。

昔から子供が好きで将来は子供と関わる仕事がしたいという思いから、大学では主に教育学について学んでおります。小学生のとき担任をして下さった先生がとても素敵で、子供の行動をよく見ていつも優しく思いやりのある言葉を掛けてくれました。大学生になった今でも大変尊敬しております。同時に私自身も子供の気持ちに少しでも寄り添う事が出来る先生になりたいと強く思うようになりました。3週間ではその思いを忘れずに実習に取り組み、子供たちから沢山のエネルギーを吸収したいと思っています。大切な学校生活に関わらせて頂くことの責任感を第一に、大変微力ではありますが一生懸命頑張らせて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。

（5月8日～東京学芸大学 竹中ちさと…3年2組）

平成19年度に国立第七小学校を卒業し、再び母校で学ぶ機会を頂けたことをとても嬉しく思います。

私の実習目標は、子供たちが「楽しい!」「分かった!」という充実感を得ることができる授業研究と「先生」としての子供との関わり方を学ぶことです。一生に一度しかない子供たちの学びの機会、成長の機会に関わらせていただくことに責任感をもちながら、自分自身にとって一生に一度しかない学びの機会を大切にしていきます。

私は、小学生の頃に七小育成会でソフトボールを習い、中学・高校ではバスケットボール部に所属し、球技や体を動かすことが大好きです。元気いっぱいの七小の皆さんと一緒に体を動かせることを楽しみにしています。短い間ですが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。（5月15日～白梅学園大学 渡邊璃子…2年2組）



福田航平先生



竹中ちさと先生



渡邊璃子先生